

株式会社京都産業振興センター

1. 団体の概要(令和8年4月1日現在)

代表者(職・名)	代表取締役社長 山本 達夫				
所在地	京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1				
電話番号	075-762-2633	設立年月日	平成5年4月27日		
ホームページアドレス	https://www.miyakomesse.jp/				
基本財産(又は資本金)(千円)	90,000	市出資・出捐金(千円)	54,000	市出資割合(%)	60.0
所管部局 (局・室・電話番号)	産業観光局クリエイティブ産業振興室 075-222-3337				
事業目的	京都市勤業館の管理運営、展示会、見本市等の企画開催及び誘致ほか				
業務内容	(1) 京都市勤業館の管理及び運営 (2) 京都伝統産業ミュージアムの管理及び運営 (3) 展示会、見本市等の企画開催及び誘致				

(参考①) 役職員の年齢構成

(単位:人)

	役員		職員		平均年齢 (歳)
	常勤役員	非常勤役員	常勤職員※	非常勤職員	
10～20歳代	0	0	4	4	51
30歳代	0	0	4	0	
40歳代	0	0	7	3	
50歳代	1	5	6	6	
60歳代～	1	5	5	5	
合計	2	10	26	18	

※うち京都市からの派遣職員は0人

(参考②) 積立金、不動産の概要

基金、積立金等(退職引当金は除く)		
主な基金、積立金名	想定される主な用途	期末残高
—	—	— 百万円
—	—	— 百万円

土地、建築物の保有状況		
主な不動産の種類、場所	想定される主な用途	敷地・延床面積
—	—	— m ²
—	—	— m ²

(参考③)京都市の政策と団体活動の関連性

関連する本市の行政計画等とその方向性	
計画名	①第3期京都市伝統産業活性化推進計画(平成29年3月) ②新京都戦略(令和8年3月改定)
	① https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000217005.html ② https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000339369.html
概要	①京都市基本計画の分野別計画の1つであり、伝統産業の活性化の推進の指針となる計画 ②令和9年度までに取り組む政策や、政策を推進するためのしごとの仕方改革、財政・組織体制の今後の方針を示すもの
計画における記載	①京都市伝統産業活性化推進計画 第4章 活性化に向けた取組 基本的施策5「活性化拠点施設等の機能の充実」 P.31 【主な取組事例集】 ○京都伝統産業ふれあい館(現・京都伝統産業ミュージアム)の活性化 本市の伝統産業製品を体系的に展示するこれまでの普及・啓発機能に加えて、ふれあい館が核となって業界の活性化につなげるため、交流機能の強化、販売促進機能の充実を図るとともに、施設の魅力向上のため、展示内容を刷新するなど、リニューアルを検討・推進する。 ②新京都戦略 <政策集>P.4 1 京都のまちが紡ぐ文化の力を活かし「新たな魅力・価値を創造し続けるまち」 (4) 市民生活と「観光」の両立 ③ 国との連携による国立京都国際会館の多目的ホールの拡張整備、歴史的建造物等のユニークベニューとしての活用など、京都の強みを活かしたMICE誘致の強化と市民や学生、研究者、企業等との交ざり合いや学びの場の創出
上記計画に関連する団体の事業や取組	
	京都伝統産業ミュージアムの管理及び運営 京都市勸業館の管理及び運営

2. 財務面の概要

(単位:千円)

主要財務数値	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	予算
経常収益	734,800	716,221	745,100	771,326	776,800		805,900
経常費用	769,300	709,591	773,900	776,144	761,800		791,700
経常利益	△ 34,500	6,630	△ 28,800	△ 4,818	15,000		14,200
資産合計	-	757,188	-	774,321	-		-
負債合計	-	299,117	-	322,058	-		-
純資産合計	-	458,071	-	452,263	-		-
累積損益額	-	368,071	-	362,263	-		-

(参考④) 財務指標

(単位:%)

			令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算	
自立性	市補助金割合	$\frac{\text{市補助金収入}}{\text{経常収益}}$	0.0	0.0	#DIV/0!	小さいほど 自立性が高い
安定性	自己資金率	$\frac{\text{純資産合計}}{\text{資産合計}}$	60.5	58.4	#DIV/0!	大きいほど 安定性が高い
収益性	売上高経常利益率	$\frac{\text{経常収益}-\text{経常費用}}{\text{経常収益}}$	0.9	△ 0.6	#DIV/0!	大きいほど 収益性が高い
	総資産経常利益率	$\frac{\text{経常収益}-\text{経常費用}}{\text{資産合計}}$	0.9	△ 0.6	#DIV/0!	大きいほど 収益性が高い

(参考⑤) 京都市からの補助金等

(単位:千円)

		令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算(※)	令和8年度 予算
補助金	京都市中小企業等総合支援補助金	-	-	-	-
	京都市中小企業等物価高騰対策支援金	-	-	-	-
	京都市中小企業等物価高騰対策支援金(追加支援)	30	-	-	-
	小計	30	0	0	0
委託料	京都市伝統産業未来構築事業	4,500	4,500	-	7,000
	京都市伝統産業製品販売機会創出事業	-	-	-	-
	京ものユースコンペティション企画・運営業務	1,000	-	-	-
	京都伝統産業ミュージアム受付カウンター制作業務	4,177	-	-	-
小計	9,677	4,500	0	7,000	
貸付金	-	-	-	-	-
	小計	0	0	0	0
その他	-	-	-	-	-
	小計	0	0	0	0

3. 目標及び実績

(1) 業務面

目標 1 「京都市勧業館の利用促進」	
令和7年度の目標	<p>令和7年度から新しい指定管理協定がスタートする。以下の取組により、稼働率の向上を目指す。</p> <p>【新規顧客の獲得】 これまでと同様にコンベンションビューロー等関係機関と連携して事業ネットワークを拡大し、成約可能性のある新規ターゲットへの企画提案型営業を行うとともに、可能な限り機会損失を減らすために、開催日の折衝、調整を行い成約につなげる。</p> <p>【継続利用顧客の獲得】 施設利用前及び利用期間中における主催者等とのコミュニケーションを強化し、伴走型の運営を継続するとともに、主催者の要望に一括して対応するワンストップサービスの充実を図る。</p> <p>また、利用後の満足度調査アンケートも継続して実施することにより要望等を把握し、速やかに対応することで今後の継続利用につなげる。</p>
令和7年度 の取組結果 (※)	
令和8年度の目標	<p>前年度に引き続き、以下の取組により稼働率の向上を目指す。</p> <p>【新規顧客の獲得】 コンベンションビューロー等関係機関と連携して新規顧客の開拓を進める。また、ホームページを中心とする情報発信の充実強化により認知度を高め、問い合わせ件数の増加を目指す。その中から成約可能性のある先への提案型営業を行う。可能な限り機会損失を減らすために、開催日等の調整の折衝を行い、成約につなげることを目指す。さらに、お問合せいただいたが成約に至らなかった先を訪問し、今後のご利用の可能性を提案するなど、次の機会につなげる営業活動を行う。</p> <p>【継続利用顧客の獲得】 施設利用に関する主催者等とのコミュニケーションを更に密にし、伴走型の運営を徹底するとともに、主催者の要望に一括して対応するワンストップサービスの充実を図る。</p> <p>また、利用後の満足度調査アンケートや担当者との情報交換により要望や不満を把握し、可能なものから速やかに対応することで、次回のご利用につなげる。</p>

指標	展示場の面積稼働率						(単位：%)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	53.00	46.03	50.00	49.21	50.00		53.30

目標2 「京都伝統産業ミュージアムの認知度向上」	
令和7年度 の目標	<p>魅力ある展示・企画事業の展開とリピーターや口コミによる来館者増に向けた以下の取組を行う。</p> <p>①来館者に伝統産業の魅力と京都の職人・作家の技術の高さを知っていただけるよう伝統産業関係団体等の協力を得て、高品質の工芸品の展示に努める。</p> <p>②来館者自身に伝統産業ミュージアムの魅力を発信していただけるよう展示やイベントの満足度を高めるとともに、展示物等の写真撮影を原則フリーとし、背景等を工夫した撮影ポイントの増設等、SNS投稿を積極的に後押しする取組を進める。</p>
令和7年度 の取組結果 (※)	
令和8年度 の目標	<p>魅力ある展示・企画事業の展開と効果的な広報を行うことで来館者増を目指す。</p> <p>① 展示物の見せ方の工夫 高品質の工芸品を展示するだけでなく、祭や歳時記などのテーマに合わせて、分かり易く興味を惹く形で紹介する。</p> <p>② コンテンツの充実 高画質の映像（英字幕入り）で紹介し、つくり手の技や思いを伝える取組を進めるほか、体験コーナーの内容を充実させる。また、職人実演の種類を増やし、実演のスケジュールをホームページで発信する。</p> <p>③ 効果的な広報 ミュージアムやミュージアムショップの企画事業等の情報を、適宜、適切に発信し、多くの媒体でミュージアム話題を取り上げてもらえるようになってきたが、記者、広報担当者等との信頼関係を一層強化し、更なる効果的な広報を目指す。</p>

指標	「京都伝統産業ミュージアム来館者数」						(単位：人)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	55,000	81,534* (149,465)	40,000* (150,000)	45,529* (157,775)	50,000* (170,000)		50,000* (180,000)

*有料エリアへの来館者数。ただし、令和5年度実績については、観覧料設定前の来館者数を含む。
()内は無料エリアを含む来館者数

(2) 財務面

目標1 「京都市勧業館みやこめっせ事業における収入の確保」	
令和7年度の目標	<p>展示場の運営については、第一に、稼働率を向上させることで施設利用料収入の増を目指す。第二に、利用者に寄り添い、利用者の要望にあわせたワンストップサービスを提供することでサービス収入の増を図る。第三に、展示場の空いている期間を利用して自主企画事業等を実施し、事業収入を確保する。</p> <p>また、展示場で開催される催事の来場者を京都伝統産業ミュージアムに誘導することで、観覧料及びショップの売上増を目指す。</p>
令和7年度 の取組結果 (※)	
令和8年度の目標	<p>京都市による複数の設備の大規模改修が予定されている中、工事日程の調整等関係部署との情報共有に努め、「機会損失」を最小限にとどめるとともに、前年度に引き続き、以下の取組により収入増を目指す。</p> <p>展示場の運営については、第一に、稼働率を向上させることで施設利用料収入の増を目指す。第二に、利用者に寄り添い、利用者の要望にあわせたワンストップサービスを提供することでサービス収入の増を図る。第三に、展示場の空いている期間を利用して自主企画事業等を実施し、事業収入を確保する。</p> <p>また、展示場で開催される催事の来場者を京都伝統産業ミュージアムに誘導することで、観覧料及びショップの売上増を目指す。</p>

指標	施設利用料収入						(単位：千円)
	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
目標と実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
		522,700	510,922	511,300	524,658	537,700	

目標2 「非外郭団体化に向けた取組」	
令和7年度の目標	<p>令和7年度から新しい指定管理協定がスタートする。</p> <p>利用料収入を増加させる等、引き続き財務改善に取り組み、単年度黒字を目指す。京都市をはじめ安定株主に対し、確実に配当を行うことで企業価値の更なる向上を目指す。</p>
令和7年度 の取組結果 (※)	

令和8年度の目標	施設利用料収入をはじめとする売上を増加させ、財務基盤の強化に取り組む。京都市をはじめ安定株主に対し、確実に配当を行うことで企業価値の更なる向上を目指す。
----------	--

指標	「税引前当期純利益」						(単位：千円)
	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
目標と実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標
	△34,500以上 (赤字幅の縮小)	2,400	△28,800以上 (赤字幅の縮小)	△4,818	15,000		14,200

(3) 組織面

目標 「持続可能な経営のための組織強化」	
令和7年度の目標	社員が働きやすい環境づくりを目指すとともに、引き続き効果的な研修を実施し、社員のスキルアップを図る。また、スキルアップをサポートする仕組みを整える。
令和7年度 の取組結果 (※)	
令和8年度の目標	社員が働きやすい環境づくりを目指すとともに、引き続き効果的な研修を実施し、社員のスキルアップを図る。また、社員の主体性と創意工夫の行動をさらに促進する仕組みを整える。

指標	「効果的な研修の実施」						(単位：回)
	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
目標と実績	目標	実績	目標	実績*	目標	実績(※)	目標
	2	3	2	2	2		2

*全社員対象の研修のみをカウント

4. 令和7年度の経営評価（令和6年度の経営状況に対する評価）

(1) 所管局による評価

財務面	<p>令和6年度は、目標としていた稼働率50%にわずかに届かなかったものの、ライブコンサートなどの新たな需要の取り込みによる新規顧客の獲得をはじめ、利用者アンケートによる要望等への速やかな対応など、リピーター確保に向けた取組の効果もあり、施設利用料収入は昨年度を大きく上回ることができた。</p> <p>また、京都伝統産業ミュージアムでは来館者が堅調に増加しており、ショップ商品売上は、昨年度を大きく上回るなど、施設運営に係る新たな収入の柱となっている。</p> <p>今期は2期続けての黒字決算とはならなかったものの、光熱費や物価高騰、労務単価の上昇等の影響が大きい中、上記の取組等により売上を伸ばし、予算時よりも大幅に赤字幅を縮小できたことは評価できる。</p> <p>令和7年度も引き続き、積極的な営業活動や新たな需要の取り込みによる新規顧客の獲得とリピーター化により、施設利用料収入の更なる増加を図り、大幅な黒字決算となることを期待したい。</p>
事業面	<p>展示場運営については、令和6年度に初めてライブコンサート会場として利用されるなど、これまでとは異なる使い方ができたことにより、新たな分野の顧客を取り込める可能性を見出せた。今後は、様々な分野への積極的な営業活動による新規顧客の獲得とリピーター化を目指し、目標の稼働率を達成していただきたい。</p> <p>京都伝統産業ミュージアムの運営においては、SNSやプレスリリースによる認知度向上の取組のほか、自主企画事業として初めてとなる公募展の開催、職人実演の毎日実施、関係機関との連携による展示など、伝統産業の振興に資する取組を着実に実施している点が評価できる。今後も引き続き、ミュージアムの認知度向上の取組をはじめ、伝統産業の振興に資する取組を積極的に実施していただきたい。</p>

(2) 外郭団体総合調整会議による評価

<p>業務面の目標に掲げる、「京都市勧業館の利用促進」については、一部目標に達していない指標はあるものの概ね実績を上げている。引き続き、京都市域の産業振興拠点の運営主体として、展示場の稼働率向上と利用者の満足度向上を図るとともに、MICE誘致はもちろん、利用者の入浴促進、観光客の誘客、文化交流の推進に資する地域連携の強化を目指して欲しい。</p> <p>また、重要なコンテンツの一つである伝統産業ミュージアムにおいては、目標を上回る来館者数となっているが、その魅力向上を通じて、みやこめっせ全体の価値を高め、ひいては岡崎地域のさらなる活性化に貢献できるよう、既存事業の展開を深めるほか、更なる新規来訪者の獲得やリピーター確保についても意欲的に企画・実施いただきたい。</p>
--